



和歌山県
有田郡
有田川町

有田川町役場 金屋庁舎 林務課 TEL:0737-22-4525
町ホームページアドレス <https://www.town.aridagawa.lg.jp/>

この冊子は森林環境譲与税を活用して作成しています。

木 を 伐 る

和歌山県有田川町
山の未来をつくる仕事



有田川町 の紹介



和歌山県の中北部に位置し、有田川の流れとともに東西に広がる有田川町。2006年に旧吉備町・金屋町・清水町が合併したことで誕生しました。西部には便利な街の暮らし、東部には自然豊かな山の暮らしがあります。有田川町は日本一の生産量を誇るぶどう山椒や、全国的に有名な有田みかんの産地で知られています。スギ、ヒノキを主とした人工林が、町内の民有林の73%を占めており、林業も盛んにおこなわれている地域でもあります。景勝地も数多く、国の重要文化的景観に選定された「あらぎ島」は町のシンボルです。

有田川町の 森林

※和歌山県の
人工林率は61%

	面 積	率
町 全 体	35,184ha	-
森 林	27,037ha	77%※町全体
民 有 林	26,342ha	-
人 工 林	19,297ha	73%※対民有林

林業とは

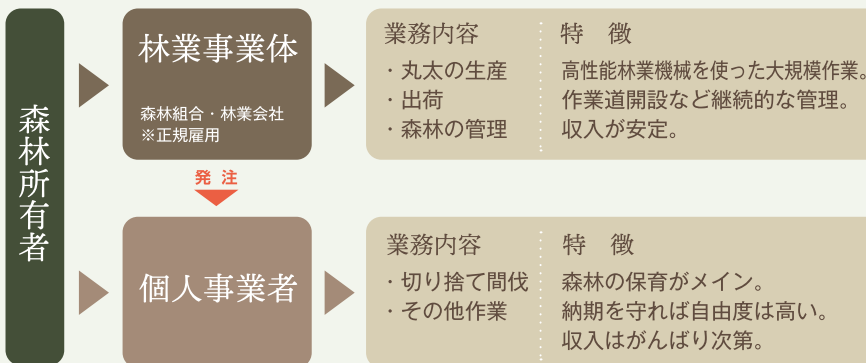
林業は、50年～100年という長い年月をかけて森林を適切に管理し、森林資源を利用しながら、健全な森林を守り育てる仕事です。木材は再生可能な資源であり、伐採した山には苗木を植林するなどして更新を図り、持続的に森林資源を循環利用していくことが、林業のサイクルになります。また、森林には、木材を生み出すだけではなく、地面に雨をたくわえてきれいな水を作り出したり、空気をきれいにしたり、木の根が土をつかんで災害を防いだり、世の中に役立つさまざまな働きがあります。森林を整備することでこうした働きを守っていくのも、林業の大切な仕事です。



雇用形態

正規雇用の現場作業員として森林組合や林業会社に勤めるほか、一人親方として独立し、多方面から仕事を請け負うといったスタイルもあります。

有田川町の林業



仕事内容

木を伐(き)って丸太を生産するほかにも、森林を育てるための間伐、作業道の設置、植栽、下刈りなど森林に関わる様々な作業をおこないます。また、建物近くにある大木などの特殊伐採をおこなうこともあります。



ある1日のスケジュール

- 6:00 起床
- 7:00 車で現場へ向かう
- 8:00 現場に到着
作業前のミーティング
- 8:30 作業開始
(途中で休憩あり)
- 12:00 昼休み
- 13:00 午後の作業
(途中で休憩あり)
- 17:00 作業終了、撤収 (冬場は 16:00 時ぐらい)
- 18:00 帰宅
- 23:00 就 寝

事業所



清水森林組合

有田郡有田川町清水 401-3 TEL.0737-25-0254
従業員数 12 人 (男性 9 女性 3) ※うち作業員 6 人 (男性 5 女性 1)
従業員の年齢: 30~50 代 / 勤務時間: 事務 8:30~17:00
現場技術職員 3~9 月 8:00~17:00・10~2 月 8:00~16:30
休: 日祝と隔週土曜日※雨の日など休み
給 与 (目 安): 180,000 円 (別途手当あり) ※初年度・日給 20 日出勤した場合



旧清水町に山林を持つ約 1000 人の組合員を束ね 林業の窓口としての役割も果たしています

組合員の山林の木を切り、運び、売る。そしてまた苗木を植えるという循環で地元の林業を支える清水森林組合。「依頼され伐採するだけでなく、切るタイミングを見極め提案やアドバイスをしながら依頼主の要望に応えるよう進めています」と組合参事を務める近藤真功さん。近藤さん自身も山村の生活に未来を感じ、大阪府から有田川町に移住しました。現場で経験を重ね今は現場管理や事務の仕事をごこなしています。現在、他にも 1 ターンで林業を始めたという人が集い、6 人で約 1000 人分の組合員所有の森林を管理。従業員だけでは到底作業が追いつかず、協力会社へ仕事を発注し、その管理をするのも組合の仕事です。「現場では数人がチームとなり安全に配慮しながら仕事を進めます。問題があれば皆で話し合いをしながら解決します。技術の向上のために、資格取得や研修会もあり、住宅を紹介することもできます。まずは体験会で雰囲気を感じて欲しい」と呼びかけます。



参事 近藤 真功さん



マルカ林業株式会社

有田郡有田川町清水 1913 TEL.0737-25-0003
従業員数 5 人 (男性 5) / 従業員の年齢: 20~60 代
勤務時間: 8:00~17:00
休: 日祝、土曜 (月 2 回程度)、その他会社指定日
給 与 (目 安): 194,000 円〜



有田川町を中心に自社保有の山林で 伐採から木工まで一貫した体制

昭和 46 年設立。有田川町 (旧・清水町) や、龍神村、かつらぎ町、紀美野町と山林の経営規模が広く、その約 80% が自社で所有している山林というマルカ林業株式会社。皆伐跡地に自社で生産している苗木を植え、手入れ (間伐) をしながら付加価値の高い木材を生産する山林の育成をしています。「仕事の内容は『山をつくること』です。道を作り、木を切りそして植えて。長年かけてそれを繰り返しています。現場も事務作業もこなしながら日々のスケジュールに沿って作業を行っています。また、森林の保育という面では、近年被害の多い獣害対策の一環として社員全員が狩猟免許を取得しました」と山林部・課長の浦西大樹さん。各種免許の取得をバックアップしてくれるほか、重機や装備品、移動の車も会社支給というのも林業を始めるにあたり心強い。また、緑育や木育など子どもたちへの森林環境教育や、木工製品や備長炭などの林産物に注目しながら新たな取り組みも進めています。



課長 浦西 大樹さん



事業所



竹上木材株式会社

有田郡有田川町楠本 478-1 TEL.0737-23-0055

従業員数18人（男性14女性4）※うち作業員10人（男性10+能力給+継続給女性1）

従業員の年齢：20～50代 / 勤務時間：スーパーフレックス制（月160時間）

休：自由に取得できます。

給 与（目 安）：176,000 円+能力給+継続給（その他手当あり）～



伝統を生かしながら最先端技術を駆使した シン・リンギョウにトライ！

有田川町楠本に拠点を置く創業 70 年を超える竹上木材株式会社。現在は、3 代目となる竹上光明社長を筆頭に「新しい林業のあり方」を常に模索している。

同社は、GIS（地理情報システム）を使い山主さんと相談して事業をつくり、最新の林業機械を駆使して森林を整備することで、年間 1 万 m³ 以上の原木丸太を出荷している。伐採した跡地には必ず植栽していて、緑を循環させ「森林を未来につなぐこと」がわたくしたちの仕事ですと社長は語る。

山の仕事に就きたいと問い合わせも多く、職業体験を積極的に受け入れているのも特長。体験者からは「林業ってこんなに進化しているの知らなかった」「自由な働き方って斬新ですね」などの感想がよせられ、直近 10 年で社員が 8 名増えましたと和夫さん。これまで同様、これからも新しい事に積極的に取り組み、事業を拡大させたいと話した。



代表取締役
竹上 光明さん



専務取締役
竹上 和夫さん



内垣林業

左) 内垣 久さん 右) 内垣 秀崇さん

有田郡有田川町大園 15-1 TEL.0737-34-2068

従業員数2人（男性2） /

従業員の年齢：30～60代

勤務時間：8:30～16:00

休：日曜、雨天

「林業を自営業で」という選択 技術と経験を積み上げ職人として やりがい+収入も直結

内垣久さんと秀崇さん親子が営む「内垣林業」。雇われるという形ではなく、自営業として林業に従事しています。20 歳の時に、叔父さんの仕事を継ぐため林業の世界に飛び込んだ久さん。50 年近く林業一筋、植栽や枝打ち、間伐といった仕事をこなす中で技術面も定評があり、木に登らないと切れないような危険木の処理にお声がかかることも多いという。「高野山の寺院の木や、和歌山市の神社の木など依頼され整えたことがありますね」と特殊な現場での作業もこなすこれぞ林業のスペシャリスト。その背中を見て習うのが息子さんである秀崇さん。父の技術を継承するべく常に 2 人 1 組で作業を行います。「特殊な木を切ることはごく稀で、通常は依頼された山の木を切りきれいにするのが仕事です。山主さんの笑顔がやりがいです」と秀崇さん。確かな技術を持つ職人として腕を磨き、それが収入に直結する自営業で有田川町の林業を支えています。



有田川町で暮らす

近藤 真功さん



木の一生は約 100 年。
未来を考えられるのが
林業の魅力のひとつです

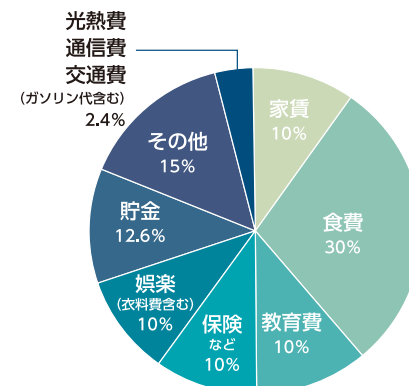
有田川町（旧清水町）に移住し、約 18 年。
近藤真功さんは、【緑の雇用制度】を利用して清水森林組合に勤めています。「事務職で現場管理を行なっています。木を切ったり植えたり、計画したところが形になり成果が出て、山主さんに「よかった」と言ってもらえるのが喜びです」と近藤さん。ご家族で住む家は築 100 年以上の古民家。「こう見えてオール電化なんですよ。内装は自分で行いましたが、水回りや設備面は業者さんをお願いしました」と住み心地の良さをアピール。お子さんたちは、家の中や敷地内を走り回り、裏山では茶摘みや栗拾いなど季節ごとの楽しみとともに充実した毎日を送っています。「旧吉備町の大型スーパーまで車で約 1 時間、和泉市のショッピングセンターは約 1 時間半と大阪へのアクセスもいいですね。自然とともに暮らしながら、たまの休日には都会へと出掛けることができる立地も紀中エリアのいいところです」と笑顔で話す姿が印象的です。



日々の生活について — 気になるお金の話 —

林業で家族を養うということ。林業を始めるにあたり、家族全員で移住となるとなおさら気になるのは収入面です。有田川町で林業に従事する方にリアルな質問をぶつけたところ、帰ってきた返事は・・・30～40 代の方の年収は約 350～400 万円程度。生活費は、家賃・食費・光熱費・通信費・交通費などで月平均約 15～20 万円程度、教育費や娯楽など生活を楽しむための費用も確保できるほか、毎月の貯金も数万円単位で叶えられている方がほとんど。地域性もあり「野菜など安く新鮮なものも手に入るのがいい」との声もありました。自然に囲まれ、ゆったりとした居住も叶えられる。子育て世代にも十分対応でき、ゆとりある生活が営めます。

有田川町林業従事者の平均値※家族構成 4 人（父・母・子ども 2 人）あくまでも目安です。各家庭により必要な内容は異なります。



住まいについて

「有田川町で林業を始めよう！」そうなると次に考えるのが『住まい』のこと。有田川町では、林業に従事する人のための「農林業就業者定住住宅」、「緑の雇用担い手住宅」、「林業研修宿泊施設」など林業に特化した住宅が用意されています。そして、そのどれもが広い間取りが確保されている上にリーズナブル。

農林業就業者定住住宅 木造2F (3DK 和室2、洋室1)
月額家賃 20,000円



緑の雇用担い手住宅 木造平屋 (2DK 和室1、洋室1)
月額家賃 15,000円



林業研修宿泊施設 木造2F (3DK 和室1、洋室2)
月額家賃 20,000円



これ以外にも町営の住宅もあります。林業の就業において「住む」という点では相談する窓口も多く、単身者も家族で住むにも十分な広さです。林業の中心となる旧清水町内にあるというのも嬉しいですね。

－和歌山県の取り組み－

和歌山県では、県の取り組みとして林業をバックアップしています。「林業の担い手は森林のスペシャリスト」をキャッチコピーに、木を育て木材として収穫することを仕事にするため、森林のプロになるための支援が多数用意されています。

いろいろ体験できる

- **林業就業サポート講習1日コース** (受講料無料)
林業の現場見学、基礎知識の講習、就業・生活相談など
- **林業就業サポート講習6日間コース** (受講料無料、宿泊費補助)
林業の現場見学、林業の基礎知識、就業・生活相談、チェーンソーの資格取得と実施体験
- **林業就業サポート講習11日間コース** (受講料無料、宿泊費補助)
林業の現場見学、林業の基礎知識、就業・生活相談、チェーンソーの資格取得と実施体験
刈払機の資格取得と実施体験
- **林業現場1日体験**
企業説明や現場見学、作業体験など

わかやま林業労働力確保支援センター
TEL:0739-83-2022



じっくり学べる

林業研修部

和歌山県農林大学学校林業研修部林業経営コース(定員10名、1年制)で、基礎を身につけ、将来の林業を担い第一線で活躍できる人になるよう育成をしています。

どんなことを学ぶの？

林業経営に必要な基礎知識から現場での実践、現場作業の資格取得まで学べます。

取得できる資格

- ・普通救命 ・刈払機(草刈機)安全衛生教育
- ・荷役運搬機械等によるはい作業従事者安全教育
- ・クレーン取扱い業務等特別教育
- ・高性能林業機械の運転技術講習など多数取得できます。

和歌山県農林大学学校林業研修部
TEL:0739-47-4141



－有田川町の取り組み－

自然を守る！林業を全力でバックアップ
有田川町では、林業に特化した補助金制度や、子育て、住まいに関する給付金や補助金制度を整えています。

- 林業機械購入補助金** 刈払機およびチェーンソーの購入費に係る費用の一部を助成します。
- 林業従事者就業奨励金** 正規雇用で150日以上現場作業に従事する人に、就業時30万円、月額奨励金2万円(24か月)を支給します。
- 育児用品等購入費助成** 子育てを支援するために、育児に必要な用品の購入費の一部を助成します。
- 乳幼児医療費助成・子ども医療費助成** 高校生世代まで(子どもが18歳に達してから最初の3月31日まで)の保険診療に係る医療費の自己負担額が無料になります。
- 有田川町在宅育児支援事業給付金** 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、第2子以降の乳児の保育を家庭で行う保護者に対し給付金を支給します。
- 出産祝金** 子どもの出産1人につき10万円を支給します。第3子以降の場合はさらに25万円を別制度にて支給します。
- 薪ストーブ等設置補助金** 薪ストーブなどを購入し設置する方に対して、費用の一部を助成します。
- 有田川町産材利用住宅支援事業補助金** 町産材を使用した住宅の新築・改修・ウッドデッキ設置費用の一部を助成します。

● 問い合わせ 有田川町役場 TEL:0737-52-2111
町ホームページアドレス <https://www.town.aridagawa.lg.jp/>



令和5年度には旧城山西小学校の校舎を改築した新施設がオープン。短期滞在場所や地元企業の職員寮として利用されるなど、移住・就業支援の拠点となります。